

「話すこと」領域のパフォーマンステスト実践事例

B 高校	1 学年	実施した科目：論理・表現 I
------	------	----------------

生徒に身に付けさせたい力（「話すこと」領域）：

社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などに置いて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、基本的な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して話して伝えることができる。

事例：話すこと[発表]スピーチ

1 単元の目標

社会的な話題（偉人の功績）について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や考えなどを理由とともに話して伝えることができる。

2 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現力	主体的に学習に取り組む態度
・情報や考えを述べるために必要となる語彙や表現、音声等を理解している。	・聞き手に伝わるように、社会的な話題（偉人の功績）について情報や考えなどを、理由とともに話して伝えている。	・聞き手に伝わるように、社会的な話題（偉人の功績）について情報や考えなどを、理由とともに話して伝えようとしている。

3 テストについて

(1) 場所

教室内

(2) 内容

偉人の功績を紹介しよう

(3) 準備物

- ・ワークシート
- ・タブレット端末（各自持参）、三脚
- ・発表に対するコメントシート
- ・タイマー

(4) 実施時間等

- ・1人あたり1分程度
- ・1クラス（40人）当たり1単位時間（50分）で実施

(5) 方法

<事前の準備>

- ・採点の基準を確認し、生徒と共有する。

教科書の例を参考に、価値ある功績を残した人の中で、あなたが紹介したいと思う人をあげて、その人が何をしたのかを具体的に紹介し、偉大だと思う理由も述べてください。話す時間は1分程度です。メモを作成し、必要に応じてメモを参照しながら話しても構いません。

<テスト当日の流れ>

- ・4人×10グループに分け、グループごとに三脚を用意する。録画は各自のタブレットで行う。
- ・コメントシートを必要枚数配付する。
- ・各グループで発表の順番を決めて、スピーチを行う。発表者以外の生徒は、スピーチ終了後に1分程度でコメントシートに記入し、発表者に渡す。
- ・教師がタイマーで時間をはかり、10グループが同じタイムテーブルで進行するよう配慮する。

<採点>

- ・授業後、教師とALTは録画映像を見て、採点基準に基づき評価する。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
A	<ul style="list-style-type: none">・語彙や表現が適切に使用されている。・聞き手に分かりやすい音声等で話して伝えている。	<ul style="list-style-type: none">・2つの条件（①取り上げる人物の具体的な紹介+②その人物が達成したことの紹介）を満たした上で、関連する情報や自分の考えを話して伝えている。	<ul style="list-style-type: none">・2つの条件（①取り上げる人物の具体的な紹介+②その人物が達成したことの紹介）を満たした上で、関連する情報や自分の考えを話して伝えようとしている。
B	<ul style="list-style-type: none">・多少の誤りはあるが、理解に支障のない程度の語彙や表現を使って話して伝えている。・理解に支障のない程度の音声等で話している。	<ul style="list-style-type: none">・2つの条件（①取り上げる人物の具体的な紹介+②その人物が達成したことの紹介）を満たして話して伝えている。	<ul style="list-style-type: none">・2つの条件（①取り上げる人物の具体的な紹介+②その人物が達成したことの紹介）を満たして話して伝えようとしている。
C	「B」を満たしていない。	「B」を満たしていない。	「B」を満たしていない。

4 テストまでの指導について

- ・自分が興味を持っている分野から偉人を選ばせる。
- ・図書館やインターネットで偉人について調べさせ、ワークシートにまとめさせる。
(授業時間に余裕があれば、各自にタブレットを用いて授業内で偉人について調べさせる。)
- ・単元で取り上げられた文法事項である関係代名詞を用いるよう促す。
- ・モデル文が3段構成（①Donna Stricklandとは誰か、②その人が達成/発明したこと、③まとめのことば）になっていることを確認させ、参考にするよう伝える。

5 フィードバック

- ・生徒は自分の発表映像を見て、自分の発話を確認する。
- ・発表に関するコメントおよび自分の発表内容について確認し、次への目標を明確にする。

本実践の検証と今後の課題について：

- ・偉人の紹介というテーマの特性上、専門用語を含めて難しい単語を用いる場合があった。聞き手にとっても理解しにくいと思われるので、そういった難解な語彙や説明が必要な用語については、ゆっくりていねいに発音するように指導すべきだと感じた。
- ・聞き手が未知の語彙や説明が必要と感じる表現に対しては、What do you mean～?やPlease explain～./ Could you explain～?のような表現を用いて、情報を引き出させ、グループワークの中で自然なやりとりができるようにさせたい。
- ・自分の発表映像を見ることで、客観的に自分の発表を評価できていたよう思う。
- ・スピーキング活動をライティング活動につなげることで、語彙や表現のさらなる定着を図るとともに、ライティング力も向上させていきたい。

【資料：ワークシート】

LESSON 17	Smart I 教科書 p.108	1年 組 番
SHARE Worksheet		氏名

■偉人の功績を紹介しよう

Step 1 ある科学者の功績を紹介した次の文を読もう。

Donna Strickland, who is a Canadian scientist, won a Nobel Prize in 2018. She is one of three women who have won the Nobel Prize in physics, which was surprising to many people. She won the prize with a French scientist, Gérard Mourou. What they invented was a method of generating ultra-short optical pulses. Their invention has several applications, including laser eye surgery. We cannot be thankful enough for what they have achieved.

- ・ ultra-short optical pulse：超短光パルス

Step 2 上の例を参考に、価値ある功績を残した人について調べて、メモにまとめよう。

▶紹介する人物が何をしたのかを具体的に紹介しよう。自分の感想なども付け加えてみよう。

紹介する偉人	
その偉人についての情報（功績・生まれた年、活動時期や場所・エピソード・与えた影響など）	
まとめのことは（いかに偉大か伝わるように）	

Useful Expressions

- ・ achieve one's goal（目標を達成する）
- ・ ability for ~（～に関する能力）
- ・ be successful at treating ~（～の治療に成功する）
- ・ overcome diverse difficulties（さまざまな困難を乗り越える）
- ・ demand patience（忍耐を要する）
- ・ an outstanding achievement（卓越した業績）
- ・ an incredible discovery（驚くべき発見）

Step 3 グループになって、順番に発表しよう。聞き手はコメントをしたり、質問したりしよう。

--

Self-Check	・ 功績を残した人について調べて紹介することができた。〈3-2-1〉	Total
	・ その功績の価値を伝えることができた。〈3-2-1〉	
	・ 発表者の話をよく聞き、質問をすることができた。〈3-2-1〉	